

令和 7 年度「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」を開催しました (2025/11/19)

テーマ：学校安全、地域安全、交通安全、生活安全、災害安全、宮城県

会場：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

URL：https://drredu-collabo.sakura.ne.jp/event/2025/20251014_event2025

11月19日、東北大学百周年記念会館川内萩ホールにおいて、宮城県教育委員会と東北大学災害科学国際研究所の共同主催による、令和7年度「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」を開催しました。教職員（安全担当主幹教諭、防災主任、地域連携担当者等の他に、学校防災・学校安全に関心のある教職員）、市町村教育委員会・教育事務所の学校安全、生涯学習・社会教育担当者等、県・市町村、広域行政事務組合の防災担当者等、学校のPTA会員、大学等の研究機関関係者、地域防災関係者等を参加対象とし、地域の防災関係者など476名が参加しました。このフォーラムは、東日本大震災の経験と教訓をふまえ、各学校園における防災教育の充実と学校と地域が連携した防災体制の整備、子どもたちの安全・安心を守るための教職員に対する防災研修の充実を図る目的で毎年開催されています。

今年度は、栗山進一所長による特別講演「命を守る防災～今、何ができるか～」のほか、実行委員会の委員として、防災教育実践学分野の佐藤健教授と災害文化アーカイブ研究分野の柴山明寛准教授が企画から運営までを担い、防災教育実践学分野の桜井愛子教授（クロスアポイントメント）がパネルディスカッションのファシリテーターを担いました。

プログラムの概要は、以下の通りです。

- 開会行事
- 基調講演「命を守る防災～今、何ができるか～」
東北大学災害科学国際研究所長 栗山進一
- 取組事例発表「交通安全・生活安全・災害安全」
- パネルディスカッション「過去・現在・未来の安全教育」
- 関係機関からの情報提供
- 閉会行事



栗山所長による基調講演



会場の様子



パネル展示



取組事例の発表



桜井愛子教授



パネルディスカッション